

おひろちゃん

特定非営利活動法人

ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (JCDN)

●ミッション

子どもから老人まで日常生活の中でダンスに触れる機会を創り、ダンスの持っている力を社会の中で活かすための環境を創ること。

●代表者

理事長 佐東範一

●設立年月日

2001年4月



●わたしたちの活動

JCDNは、コンテンポラリーダンスを普及・発展させるための全国的なネットワーク組織です。「コンテンポラリーダンスって何ですか?」とよく聞かれるのですが、バレエやジャズダンス等のように、基本の「型」があるのでなく、その「型」から一人一人のアーティストが、新しく生み出そうとする身体表現です。

そつした型が決まっているという特性を活かし、誰でもがアプローチできるものとして、福祉や教育、健康な

ど様々な分野で、ダンスの持っている力(創造力・表現力・コミュニケーション力など)を社会の中で活かす活動(コミュニティダンス)が、全国的に広がっています。

中でも現在、教育関連の事業で力を入れているのが、学校の先生のための舞踊教育教材の普及です。ダンスの持つ力を子どもたちから引き出すためのファシリテート方法を、3組のタイプの違うアーティストに協力していただいて、昨春秋に初回版を発行しました。

コンテンポラリーダンスのアーティストが学校で行う授業は、「決まった振り付」を子どもたちに教えるのではなく、自由な発想で、一人一人がオリジナルなダンスを創っていくものです。子どもたち自らが創造力を膨らませて動きを考え、どのように表現するかを工夫し、人と一緒に何かを創っていく過程でコミュニケーション力を育む——そんな授業である事が特徴です。ダンスというよりも子ども



こちかぜキッズダンス @ 三条学童保育所 (撮影: 草本利枝)

たちの中に眠っている能力を刺激するといった方があっているのかもしれない。昔は、外遊びの中で育まれてきた能力だと思いますが、外で友達と遊ぶ機会が減り、コンピューターゲームが遊び相手になっている現代社会において、「こつした「自分で考える力」や「他者を理解する力」を引き出し育む機会が、家庭や学校にも大変必要になっていると思います。

この教材が、子どもたちのころと身体を豊かにし、子どもたち同士が新しい関係性を築いていけるような創造的な授業を行う一助になればと思います。

ダンスの授業の方法がいつぱい詰まった教材(参考書)「ダンスリーフ」は、サイト (<http://www.jcdn.org/danceleaf/>)から一部映像が見られます。また、学校の先生を対象に期間・部数限定で全編を無料配布しています。興味のある方は是非ご連絡ください。

住所 〒600-8092 京都市下京区神明町241 オパス四条503

TEL 075-361-4685 FAX 075-361-6225 e-mail jcdnjp@ybb.ne.jp

HP www.jcdn.org